

するのである。我々は高遠の理想を追求するものであるが、其實現手段としては徐々に進歩して行く外はない。外國の労働組合が秩序整然たる動作をするのは長き間に労働條件を徐々に改善し社會的經濟的勢力を養ふたからである。我國の労働者を見るに未だ全く資本家の道具であつて完全に自己の能力を發揮し得ない状態に在る。此状態を脱出せしめて何の理想か實現せん。我々は當分の間、社會的經濟的勢力の養成——即ち労働條件改善運動に従事せねばならぬのである。

第四に本組合は傳統的精神を尊重する。共に近代文明國の民主的精神を實現するものである。舊來の自本、相互扶助の二精神と共に自由、平等、労働崇拜の民主精神をとり入れ日本坑夫の一大労働運動を行ふのが本組合の根本目的である。

二 全國坑夫組合の事業

幾度も繰返して説明した如く労働者は漫然、團結しても、何にもならない。殊

に鑛山労働者は都市労働者と性質が違ふ。一旦團結した上は同職組合として耻かしからの事業を行ひ組合員の社會的經濟的地位の進歩を計らねばならぬ。

わが全國坑夫組合は漫然たる團結を目的とするのでない。わが組合は實に次の五大事業の遂行を根本目的とするのである。

一、共濟

鑛山労働は甚だ危険の伴ふ労働である。坑夫は往々瓦斯爆發、落盤等の事故突發により生命を損し又大怪我をなし、一生を廢疾のうちに送らねばならぬ危険を持つてゐる。人と生れて不慮の災に逢ひ一生を廢疾のうちに送らねばならぬことは、何たる悲惨のことであらうか、この爲めに坑夫間では古くより奉願帳の制度があつて、奉願帳の所持者は全國の各山を巡ることが出来るのである。然し奉願帳には色々の缺點がある。先づ重病の人が一々山を尋ねたりしてゐるは却て病氣を重くする。また小さい山では此奉願帳のために中々の入費がかかる。そこで我